

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	市民との協働によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	市民と行政がともに力を合わせ、役割分担を行い、課題解決に向け、自らが取り組んでいます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会等の委員に対する公募の割合	15.90%	—	—	—	—	20%	—	—	—	—	25%
	—	18%	19.8%	18.8%	20.9%	20.9%	20.1%	20.1%			
② まちづくり出前講座の利用者数	13,499人	—	—	—	—	16,000人	—	—	—	—	20,000人
	—	17,947人	16,924人	15,018人	13,854人	2,191人	4,646人	5,643人			
③ ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体	225団体	268団体	258団体	240団体			
④ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22団体	22団体	22団体	21団体	21団体	22団体	22団体			
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 協働によるまちづくりの推進	778	1	0	1	0	市民協働推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	778	1	0	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	市民との協働によるまちづくり	評価者名	田口周一
評価主体が推進する施策の概要	協働によるまちづくりの推進 ・各種審議会や委員会等、市民が主体的に参画できる機会や場を拡充するとともに、まちづくり出前講座を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・出前講座は、116件の申込と5,643人の利用があった。</p> <p>・市民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。</p> <p>・協働のまちづくり推進事業助成金は、市民活動団体の2団体に交付し協働事業が実施された。</p> <p>・市民活動推進委員会では、市民活動団体の活動や課題となっていることについて把握し活動を推進するため、活動状況を調査し、「八潮市市民活動状況調査報告書」として、市に提出された。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>・「協働」は、本市のまちづくりの基本理念にも位置付けられていることから、全職員が協働についての共通認識を持つ必要がある。また、協働についての市民への周知とともに、市民団体等の活動の広がりを協働につなげていく仕組みづくりが必要となっている。</p> <p>・出前講座については、同一利用者からの申請が多いことや利用回数が少ないメニューがあるなどが課題である。より多くの市民に活用してもらおうことができるよう、効果的なPRが必要である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	審議会委員に対する公募委員の割合やボランティア・市民活動団体登録数等は概ね目標値を達成している。また、協働のまちづくり推進事業助成金の活用実績など成果が上がっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	<p>(説明)</p> <p>・市民や市職員が共通認識を持って協働のまちづくりに取り組めるよう、協働に対する考え方を引き続き周知していく。</p> <p>・市民活動推進委員会等と連携して、市民活動の支援方策等について調査研究を行う。</p> <p>・出前講座を活用してもらえよう効果的な周知を行うとともに、新たなメニューの募集など調査研究を行う。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	章 節 施策		
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	38.5%	—	—	35.3%	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	440	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	26,773	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	31,903	2	0	1	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	59,116	5	0	4	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	広聴・広報の充実 ・市民の意見及び要望等を市政に活かすため、市民意識調査や市民の声ボックス等の広聴活動を充実する。また、市政の情報を広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体を通して広く市民等に提供するなど、広報活動を充実する。 情報交流の支援 ・市民同士、また市民と行政が情報交流を行い、コミュニケーションを図れるよう、セキュリティを確保したネットワークを活用し、地域情報サービスを提供する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	広聴事業では、市民意識調査や市民の声ボックス等により市民要望を把握するとともに、各種相談事業を行った。 広報事業では、広報紙の編集・発行、市ホームページの更新・維持管理、やしお840メール配信サービス、AIチャットボットの運用、パブリシティを行った。また、シティセールスプランに基づき、ホームページのシティセールス専用サイトやSNSを活用し、効果的な情報発信に努めた。		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	市民への広報紙の配布は新聞折込が主な方法であるが、新聞を購読していない世帯が増加傾向にある。このため、新聞を購読していない世帯の方にも広報紙の情報を提供するため、公共施設や民間施設への広報紙の設置や、ホームページへの掲載、やしお840メール配信等により対応している。今後も、市民が適切に市政情報を取得できるよう、様々な手法を検討することが必要である。 地域情報化についての計画策定から相当の年数が経過し、すでにX(旧Twitter)やFacebookなどのコミュニケーション環境があるなかで、市民と行政が有用な情報交流を行うためのツールやDXをふまえたシステム導入の研究等が必要となる。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	地域情報化推進事業については、情報化基本計画の見直しやコミュニケーション環境の変化への対応などの課題に対し、遅れが見られるものの、広聴・広報事業については、おおむね順調に事業が実施されており、全体としては概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) 広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつどい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。 広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス、SNS等の様々な媒体により広く市民に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。 地域情報化推進事業については、国等の施策や現状のコミュニケーション環境を踏まえ、DXの観点から改めて地域情報化のあり方を研究していく。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広報事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広聴事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業	2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業																																			
2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	0.385	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	440	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	26,773	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	31,903	2	0	1	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	59,116	5	0	4	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	情報公開の充実 ・市民の知る権利の保障及び行政機関の説明責任を果たすとともに、個人情報の適正な取扱いに努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・情報公開・個人情報保護事務は、条例に基づき適正な運用を行っている。 ・個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、八潮市個人情報保護法施行条例及び八潮市個人情報保護法施行条例施行規則を制定し、令和5年4月1日に施行した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	・通常業務の著しい停滞等を招くおそれのある大量又は頻繁な公文書の開示請求等への対応について課題がある。 ・「行政機関等匿名加工情報制度」(※)の導入について、国や県、他自治体の動向に注視しつつ、継続して調査研究に努める必要がある。 ※事務事業の適正な運営や個人の権利利益の保護に支障がない範囲内において、行政機関の保有する個人情報を特定の個人を識別できないように加工し、かつ、当該個人情報を復元できないようにした情報を事業者等に提供する仕組み		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	情報公開制度により市民の知る権利を保障し、個人情報保護制度により個人情報の適正な取り扱いを確保している。 両制度を適切に運用することで、公正で市民に開かれた行政の推進に資するとともに、個人の権利利益の保護に資することに努めている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																							
	(説明) 引き続き、公正で市民に開かれた行政の推進に資するとともに、個人の権利利益の保護に資するため、個人情報保護制度及び情報公開制度の適正な運用に努める。 また、「行政機関等匿名加工情報制度」については、国や県、他自治体の動向に注視しつつ、継続して調査研究に努める。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>情報公開の充実・個人情報の保護</td> <td>情報公開・個人情報保護事務</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	02	01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	02	01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	06	02	01	情報公開・個人情報保護事務				総務部	総務課	440	○	☆☆	見直して継続	現状維持	増加
	06	02	02	広報事業	■	■	■	企画財政部	秘書広報課	22,912	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	02	02	広聴事業	■			企画財政部	秘書広報課	3,862	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	02	03	地域情報化推進事業				企画財政部	情報政策課		○	☆	他事業と統合して継続	削減	削減
	06	02	03	駅前出張所管理・サービス事業	■			生活安全部	市民課	31,903	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										440 部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 生活安全部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	0.385	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	440	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	26,773	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	31,903	2	0	1	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	59,116	5	0	4	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	荒浪 淳
評価主体が推進する施策の概要	1. 情報交流の支援 駅前出張所管理・サービス事業については、住民異動届の受付、印鑑登録及び戸籍の届出受付、住民票・印鑑証明・戸籍・各種税証明の交付、市税及び税外諸収入の収納、児童手当及び子ども医療等の届出、一般旅券の申請受理及び交付、県証紙及び印紙の売り捌き等の多くの業務を取り扱うことにより市民サービスの向上を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口において12課21事業114業務を取り扱った。 ・各種証明書の交付件数は、住民票等15,805件、印鑑証明7,292件、戸籍・除籍謄抄本等3,057件、税証明等4,736件、その他の証明228件であった。 ・市税及び税外諸収入の収納件数は、市税5,019件、税外諸収入35,589件であった。 ・一般旅券の申請件数は1,217件であった。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱業務が市民生活に密接していて複雑多岐にわたることから、職員の経験値による差が生じやすい状況である。 ・変則的な勤務体制の中、限られた人員で対応しなければならぬため職員のローテーションが課題である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	取扱業務が複雑多岐にわたるが、日頃から関係各課と連携を密にしながら市民サービスの向上が図られている。また、窓口での取扱件数も多く利便性の向上も図られており、順調に成果が上がっていると評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員で複雑多岐にわたる業務を取り扱う必要があるため、マニュアルの作成や事務の引継を徹底するとともに、あわせて事務の効率化を図る。 ・市民サービスを向上させるため、職員向け研修等を実施し、個々のスキルアップを図る。 ・本庁市民課と常に情報共有を図り連携強化に努める。 ・市民サービスを向上させるため、課題となっている市民課以外の業務について担当課と検証を行いながら改善を図る。 		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	06 02 03	情報交流の支援	駅前出張所管理・サービス事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】 節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	06	02	01	情報公開・個人情報保護事務				総務部	総務課	440	○	☆☆	見直して継続	現状維持	増加
	06	02	02	広報事業	■	■	■	企画財政部	秘書広報課	22,912	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	02	02	広聴事業	■			企画財政部	秘書広報課	3,862	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	02	03	地域情報化推進事業				企画財政部	情報政策課		○	☆	他事業と統合して継続	削減	削減
■	06	02	03	駅前出張所管理・サービス事業	■			生活安全部	市民課	31,903	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										31,903	部の事業費計				

【課題】 ー：課題はほとんどない， ○：ある程度課題がある， ●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調， ☆☆：概ね順調， ☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	91.8%	93.1%	93.0%	93.0%	93.2%	93.5%			
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人	47コース 417人				
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナウイルスのため の中止	1コース 18人				
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	14.4%	15.8%	18.7%	21.8%			
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	5.4%	5.0%	6.0%	7.0%			

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	21,708	5	1	3	1	企画経営課、アセットマネジメント推進課、総務課、契約検査課
2 行政組織の効率化と人材育成	31,927	4	3	0	1	企画経営課、人事課
3 行政事務の電子化	315,037	5	1	4	0	情報政策課
4 健全で柔軟な財政運営	176,074	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	544,746	21	12	7	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>・総合計画・基本計画に基づき、実施計画の策定及び行政評価を実施する。また、行政改革、事務事業の見直し及び行政組織・職員定数の見直しを行いながら、効率的、効果的な行政運営を行う。</p> <p>・長期的視点に立ち、公営企業等を含めた経営の健全化を図るとともに、健全で柔軟な財政運営を推進する。また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標の改善や適正化を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次八潮市総合計画・基本計画を管理するため、行政マネジメントシステムを有効に活用した。総合計画を円滑に進行するため、実施計画の策定及び行政評価を実施し、その結果を公表するとともに、事務量に応じた職員定数の決定を行った。 ・基幹系情報処理業務システムについては、国が策定する標準仕様に準拠するシステムへの移行が必要となることから、国等の動向に注視しながら近隣市等における対応状況等の情報収集を行った。 ・財政健全化法に基づく令和4年度決算の健全化判断比率は、実質公債費比率7.0%（R3:6.0%）で1.0ポイント悪化し、将来負担比率は45.3%（R3:23.3%）で22.0ポイント悪化した。 		
	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	<p>・総合計画を進行管理していくうえで、コスト意識や情報分析能力等が必要であるため、さらなる職員の意識改革をする必要がある。また、人口の増加や市民ニーズの多様化・複雑化に伴う事務量の増加に対応できる組織の検討が必要である。</p> <p>・基幹系情報処理業務システムの標準化に向け、対象となる20業務システムの標準化範囲外の業務をどのように扱うか、差異分析の結果を踏まえて、担当課において判断していく必要がある。令和7年度までが移行目標とされているため、速やかにベンダー選定の方針を固め、具体的な移行作業スケジュール等を関係各課に周知する等、適切な対応が求められている。</p> <p>・新庁舎建設等の大規模建設事業が行われたこと等から、実質公債費比率及び将来負担率は前年度と比較して悪化した。今後も大規模建設事業が予定されていることから、財政健全化法の趣旨を踏まえ、一般会計の歳入・歳出の両面にわたる財政健全化に向けた取組みを進めるとともに、特別会計においても財政健全化に努め、一般会計からの繰出金の抑制に努める必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	いずれの業務も課題はあるものの、それぞれの業務について適切な管理を行い、順調に業務が行われている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進</p> <p>重点化(拡充) 縮小 その他</p>		
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次八潮市総合計画の推進にあたり、行政マネジメントシステムを活用し、効率的・効果的な事業の実施を図るとともに、行政評価を実施し、事業の改善、市民満足度の向上に努め、基本計画に掲げた施策を計画的に実施する。行政改革については、「第6次八潮市行政改革大綱・実施計画」の取組状況の進行管理を行い、引き続き、事務事業の見直しや業務改善を図る。また、行政組織・職員定数については、組織全体の事務量を把握した上で、毎年度組織・定数の決定を行う。 ・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年9月1日施行）の趣旨を踏まえ、対象20業務システムの標準化に向け、関係課と連携を図りながら、国が目標としている令和7年度までの標準化システムへの移行に取り組んでいく。 ・今後も、大規模な建設事業などが予定されているが、財政健全化法の趣旨を踏まえ、公債費の適正化を図るため、地方債の発行額については、実質公債費比率などの財政指標を踏まえつつ、後年度に過度な負担が生じないよう市債の抑制に努める。また、実質公債費比率だけでなく、經常収支比率や将来負担比率等の財政指標の動向に留意し、一般会計はもとより特別会計の健全な財政運営に努めていく。 		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	06 03 01	計画的・効率的な行政の推進	計画行政推進事業
2	06 03 03	行政事務の電子化	基幹系情報処理業務管理事務
3	06 03 04	健全で柔軟な財政運営	財政健全化事業
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	06	03	01	行政改革推進事業	■			企画財政部	企画経営課	795	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	01	計画行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	4,316	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	01	公用車管理事業				総務部	総務課	7,636	●	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	6,338	○	☆☆	見直して継続	削減	削減
	06	03	01	契約事務			■	総務部	契約検査課	2,623	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	人事管理事務	■			総務部	人事課	16,302	○	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	人材育成推進事業	■			総務部	人事課	2,229	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	人事課	13,396	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	03	情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	情報政策課	120,082	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	情報政策課	152,013	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	06	03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	情報政策課	1,175	○	☆☆	見直して継続	現状維持	増加
■	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	情報政策課	29,662	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	03	自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進事業			■	企画財政部	情報政策課	12,104	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	19,449	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	996	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	285	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	51,067	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	04	市税収納事務	■			総務部	納税課	92,663	●	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	財政事務				企画財政部	財政課	11,614	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	財政健全化事業	■			企画財政部	財政課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										338,099	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	91.8%	93.1%	93.0%	93.0%	93.2%	93.5%	—	—	—	—
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人	47コース 417人	49コース 741人	—	—	—	—
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナウイルスのため の中止	1コース 18人	2コース 53人	—	—	—	—
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	0.144	0.158	0.187	21.8%	—	—	—	—
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	0.054	0.05	0.06	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	21,708	5	1	3	1	企画経営課、アセットマネジメント推進課、総務課、契約検査課
2 行政組織の効率化と人材育成	31,927	4	3	0	1	企画経営課、人事課
3 行政事務の電子化	303,588	5	1	4	0	情報政策課
4 健全で柔軟な財政運営	176,074	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	533,297	21	12	7	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①職員の人材育成 ・職場内外の研修などを通して職員の能力の向上に努め、より良い市民サービスの提供に努める。 ・管理職に占める女性の割合を増加させるため、意識啓発を行うとともに、女性向け研修への参加機会を拡充する。 ②市税の適正な課税及び徴収 ・市民税や固定資産税等の市税の適正な賦課及び徴収を行い、自主財源の確保を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①職員の人材育成では、人材育成基本方針に基づき、外部研修機関への派遣研修、職場外での集合研修、職場内での業務を通じた研修を行い、職員の能力向上に努めた。 ②市税の適正な課税及び徴収では、市税の収入済額は、180億1,296万6,525円（R3：172億2,847万8,003円）、対前年度比7億8,448万8,522円、4.6%の増であった。 また、納税率は、現年度99.40%（R3：99.43%）で対前年度比0.03ポイント、滞納繰越分40.86%（R3：45.04%）で対前年度比4.18ポイントそれぞれ下回ったものの、市税全体では98.69%（R3：98.58%）と対前年度比0.11ポイント上回った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	①職員の人材育成では、研修時間の確保や多様な働き方を促進する観点から、新たな研修方法（Zoom等を使用）の導入を含めた効率的かつ効果的な研修の検討を進める必要がある。 ②市税の適正な課税及び徴収では、市税全体の納税率（98.69%）は県平均（98.31%）を上回ったが、今後もさらなる納税率の向上に努める必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	①職員の人材育成では、コロナ渦においても、オンライン研修の実施や感染症対策を行うことにより、予定していた研修を概ね実施し、職員一人当たりの研修参加人数が目標を上回ることができたため。 ②市税の適正な課税及び徴収では、適正・公正な賦課に努め、収納も全体として上昇傾向を維持しており、収入未済額を圧縮したため。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
施策の展開方針	(説明)			
	①職員の人材育成では、外部研修機関での派遣研修への参加を促進するとともに、内部研修にあつては、行政課題、社会情勢に対応するものや職員のニーズにあつたものを取り入れて内容を充実させる。 ②市税の適正な課税及び徴収では、課税客体を的確に把握し、適正な課税に努める。 また、市税収納について、現年分を次年度に繰り越さず、効率的かつ効果的な徴収対策を実施して、自主財源である市税収入の確保に努める。			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節 施策		
1	06	03 04	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務
2	06	03 04	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務
3	06	03 04	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務
4	06	03 02	行政組織の効率化と人材育成	人材育成推進事業
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	06	03	01	行政改革推進事業	■			企画財政部	企画経営課	795	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	計画行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	4,316	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	01	公用車管理事業				総務部	総務課	7,636	●	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	6,338	○	☆☆	見直して継続	削減	削減
■	06	03	01	契約事務			■	総務部	契約検査課	2,623	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	人事管理事務	■			総務部	人事課	16,302	○	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	人材育成推進事業	■			総務部	人事課	2,229	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	人事課	13,396	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	情報政策課	108,633	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	情報政策課	152,013	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	06	03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	情報政策課	1,175	○	☆☆	見直して継続	現状維持	増加
	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	情報政策課	29,662	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進事業			■	企画財政部	情報政策課	12,104	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	19,449	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	996	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	285	-	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	51,067	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	04	市税収納事務	■			総務部	納税課	92,663	●	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	財政事務				企画財政部	財政課	11,614	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	財政健全化事業	■			企画財政部	財政課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										206,647	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心して利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針」の策定	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」の策定	—	—	—	—	公共施設等の効率的な維持管理
②	「八潮市公共施設マネジメント基本計画」の策定	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」の策定	—	—	—	—	
③		—	—	—	—		—	—	—	—	
④		—	—	—	—		—	—	—	—	
⑤		—	—	—	—		—	—	—	—	

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	2,674,751	6	0	6	0	アセットマネジメント推進課、公共施設整備課、総務課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,674,751	6	0	6	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	柳澤 徹
評価主体が推進する施策の概要	<p>・将来的な人口動態や財政運営、市民要望などを的確に見極めた上で、公共施設を一つの経営資源として捉え、施設の統廃合や複合化・長寿命化・民間活力の活用方策等を含め、アセットマネジメントの各種取組を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・これまでの取組の成果や課題を整理し、今後の施設の維持・更新に関する取組内容を示した「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン」見直し版を策定した。 ・令和3年10月に着工した「八潮市新庁舎建設工事」を適正に監理するとともに、工事の進捗により、設計数量の変更や追加工事が発生したことから、変更契約を締結した。 ・各課からの依頼に基づき、市有施設における営繕業務を実施した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・アセットマネジメントの取組を持続的かつ着実に実行する上で、公共施設の更新・統廃合・保全に必要な財源を確保することや事業費の平準化及び抑制が極めて重要な課題となる。また、施設再編における市民との合意形成や複数部局にわたる施設再編への取組など実践的な取組へと移行することに伴い、公正性と客観性の確保、公正・中立で地域の利害を超えて、全市民的な利益を考えていく視点に立った取組が課題となる。 ・新庁舎整備においては、令和5年10月の竣工まで庁舎利用者や周辺住民への安全の確保しながら、工事の品質確保を監理していく必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>新庁舎整備事業においては、概ね予定していた進捗率を達成することができた。 一方で、公共施設の跡地等の有効活用や未利用施設の方向性については、検討が進まず、具体的な成果を上げることができなかった。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>・今後のアセットマネジメントの取組みでは、これまでの既成概念にとらわれることなく、全体最適の視点を念頭に施設再編を検討するとともに、アクションプラン（見直し版）に基づく施設再編計画には民間活力の導入、公的不動産戦略の導入を検討していく。 ・新庁舎整備の取組みでは、庁舎利用者や周辺住民への安全の確保し、工事の品質確保を監理しながら令和5年10月の竣工、令和6年1月のオープンを目指す。 ・公共施設管理、営繕の取組みでは、維持管理費の削減やサービス水準を維持・向上させながら、公共施設再編計画及び公共施設中長期保全計画に位置付けられた施策を着実に実施していく。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	新庁舎整備事業
2	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	アセットマネジメント推進事業
3	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	公有財産管理事業
4	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業
5	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	営繕・施設管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	06	04	01	アセットマネジメント推進事業			■	企画財政部	アセットマネジメント推進課	417	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	04	01	庁舎管理事業				総務部	総務課	95,005	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	04	01	公有財産管理事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	10,058	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	04	01	新庁舎整備事業			■	企画財政部	公共施設整備課	2,568,269	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	04	01	営繕・施設管理事業				企画財政部	アセットマネジメント推進課	1,002	●	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	04	01	新スポーツ施設整備事業				企画財政部	公共施設整備課		○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										2,579,746				部の事業費計	

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心して利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針の策定」 —	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」 「公共施設マネジメント基本計画」 「公	—	—	—	—	公共施設等の効率的な維持管理
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	2,674,751	6	0	6	0	アセットマネジメント推進課、公共施設整備課、総務課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,674,751	6	0	6	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	建築基準法、ビル管理法等関係法令に基づき、施設の適正な維持管理の実施及び施設の機能を適切に保持し、適正な執務環境を維持する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	法令に基づく機械設備の保守点検を適切に行った。 また、執務環境に影響を与えないよう、可能な限り必要な修繕を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input type="checkbox"/> ある程度課題がある <input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	現庁舎の管理では、施設及び機械設備の老朽化などにより修繕による対応ができなくなっている箇所が増えている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	法令に基づく機械設備の保守点検を適切に行うとともに、老朽化等による制約があるものの可能な限り必要な修繕を行い、安全・安心な施設管理ができたため。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) 現庁舎の管理では、施設整備のうち緊急的なものについては、適時対応するものとする。ただし、修繕内容については、新庁舎への移転を踏まえ、機能維持、安全面は確保しつつ、必要最小限なものとする。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>公共施設等の計画的整備と資産の有効活用</td> <td>庁舎管理事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	—	4,000人
②	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人	2,135人	2,175人					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	5,176	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	5,176	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・道路・交通網の整備や情報通信技術の進展により、行政の圏域や枠組みを越えて市民活動が行われ、市民ニーズが複雑化・多様化していることから、近隣自治体との広域的な連携体制をつくることによって、より効率的かつ効果的な行政サービスが提供されるよう広域的な行政課題等について調査研究を行う。 ・近隣5市1町による埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域的な行政課題の解決に向けての調査研究を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、婚活まんまるバスツアー及び職員研修会等を実施した。 ・同調整会議を通じて、共通する行政課題の調査研究を行うにあたり、DX専門部会においてDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する調査研究、多文化共生専門部会において、広域的な外国人支援施策に関する調査研究を行った。 また、ヤングケアラー問題やダブルケア問題について、及びシティブロモーションの在り方について情報交換を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	公共施設の利用条件などについて今後検討する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	5市1町の公共施設の利用条件などについては課題があるものの、埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域の連携事業や広域の課題に対する調査・研究は順調に実施されている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) 5市1町の調和の取れた発展を目指し、広域的な行政課題について調査研究を行い、引き続き広域的な連携を図る。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>広域的な連携の強化</td> <td>広域行政推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>県及び他市区町村との協力関係の構築・強化</td> <td>広域協力体制構築事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域行政推進事業	2	06	05	02	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	広域協力体制構築事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域行政推進事業																																			
2	06	05	02	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	広域協力体制構築事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	06	05	01	広域行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	351	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	05	01	広域連携事業	■			市民活力推進部	市民協働推進課	4,825	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	05	02	広域協力体制構築事業				企画財政部	企画経営課		○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
											351 部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R4年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	—	4,000人
②	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人	2,135人	2,175人	2154人				
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R4年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	5,176	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	5,176	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	田口周一
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・埼玉県東南部都市連絡調整会議による公共施設の相互利用を進める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努めるとともに、現システム利用者カードの更新制度を周知し、利用者登録の整理を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	まんまるよやくシステム（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）未登録者の取り扱い（採番時の有効期限入力の有無、抽選受けの可否など）が市内各施設で異なるなど、あらためて、統一したルールの検討が必要となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	令和3年11月に新システムに移行後も特に大きな問題はなく、安定的に利用されている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	(説明) 埼玉県東南部都市連絡調整会議の構成市町と連携・協力を図り、今後も利用者の利便性の向上のため、まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努める。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	章 節 施策		
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R4年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R4年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
	06	05	01	広域行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	351	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	06	05	01	広域連携事業	■			市民活力推進部	市民協働推進課	4,825	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	06	05	02	広域協力体制構築事業				企画財政部	企画経営課		○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
										4,825	部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ